



おしゃべりかわらばん



森で、うどんランチ

うどん打ちは初体験。ふだんから魚をおろしたり薫製を作ったりと、料理が好きなので、楽しく作れました。完成したうどんは、森にある雪のテーブルで食べました。林間学校のように、なかなか乙な体験でしたよ。

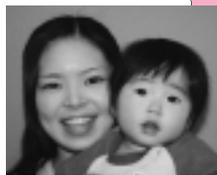
太平山の「まんたらめ」で、うどん打ちを体験した工藤周一さん(千秋)



雪のテーブルで手作りうどん。いただきます～す！
(2月29日、まんたらめ ながみの森)

ボール遊びがお気に入り

今日は友だちの親子と一緒に来ました。広いところでいろいろな遊びができて子どもとっても楽しそう。特にボール遊びが気に入ったようです。1歳になってようやく歩けるように。春になったら外に散歩に出かけようね。



南部公民館の3B体操教室に参加した茂木春輝ちゃんと久美子さん(広面)

ぴかぴかリング完成！

金属工芸に興味があったので、「伝統文化子ども教室」の銀細工に挑戦しました。銀を熱して、叩いて、磨いて…。作業は2時間もかかりましたが、最後まで集中してできました。指輪はお母さんへプレゼント。喜んでくれるかな？



外旭川中2年の、佐々木愛さん(左)、小出知世さん(中央)、佐藤成さん

秋田の自然を将来に

春が近づき、私たちの清掃活動もいよいよ本格始動します。秋田のすばらしい財産である山、川、海をきれいにし、将来に残していきたいですね。小さな努力かもしれませんが、これからも積み上げていきます。



秋田清掃登山連絡協議会の大山鶴子さん

いざという時の自信に

大人向けの救命講習を受けたことはありますが、子どもの救命講習は初めて。ふだんファミリーサポートセンターの協力会員としてお子さんを預かっていますので、とても参考になりました。いざという時の自信につながりますね。



アルヴェで開かれた乳幼児の救急救命講習に参加した三浦みどりさん(広面)

と輝かしい成績を残しました。開催地の熊本市は優勝の記念にとイチヨウの苗木を贈ってくれました。その苗木は現在、八橋運動公園にある県スポーツ科学センターの前で立派に育っています。昨年10月7日、秋田わか杉国体の準決勝終了後、47年前の熊本市の好意にお礼がしたいと、秋田県ボクシング連盟から熊本県チームに秋田杉の苗木を5本贈りました。次の日の決勝戦でボクシング熊本県チームは総合優勝！木の縁でしようか。とても感動しました(鎌田徳信さん・柳田)

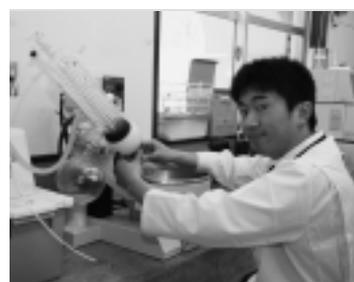
係からひとこと

富山市からの派遣職員として秋田に来て2年が経ち、4月富山に帰ります。思い返せば、夏は竿燈、秋は登山にパークウォーク、冬は長靴ホッケー…。いかにも不器用そうなのですが、どれも「見る方」ではなく「する方」に誘ってもらいました。そして2年間で作った48冊の広報があります。48冊つなげると約15メートル、400キロ以上離れた富山と秋田が近づくのに、15分、ちよつと貢献できたかな？最後に、実は私、3月は勝手に「思い出作り月間」のため、今回の広報にたくさん出させてもらいました。探してみてください(中川)



国体協賛に感謝状

たくさんの人の協力で、感動とまごころあふれる大会となった秋田わか杉国体。2月15日、会場設営の協力や物資寄贈など、国体に協賛してくれた22の企業・団体に感謝状を贈りました。大会成功の大きな支えとなったみなさん、ありがとうございました！



食肉衛生の研究に最高賞

市食肉衛生検査所・畠山拓技師が、厚生労働省主催の食肉衛生発表会で、残留薬剤の検査に関する研究結果を発表。全国から推薦された25の自治体の中から最高賞となる「食品安全部長賞」に選ばれました。今後も食肉の安全のため、研究に励みます。